

## 水質の感覚的評価と浄化方策 第2回ワークショップ 議事録(案)

日時:平成 18 年 5 月 31 日(水曜日) 午後 6 時 30 分～午後 9 時

場所:中部大学鶴舞キャンパス 610 講義室

### 議事

1. 第 1 回の議事録の確認が行われた。
  2. 平成 18 年 5 月 28 日の堀川視察について  
5 月 28 日(日曜日)に行われた堀川視察が紹介された。(武田)  
撮影された写真をもとに堀川の状況,課題,問題点などが話し合われた。
  2. 堀川 1000 人調査隊(松尾研究室 他)の調査報告  
「ゴミ」「臭い」に関する 2004 年の堀川 1000 人調査隊の活動内容の紹介があった。(武田)  
ゴミに関しては,採取したゴミを紹介する事例が多く,本ワークショップでの資料とならない。  
臭いに関しては,中部大学松尾研究室の活動内容を紹介したが,庄内川からの導水による影響に  
主眼が置かれていることから,本ワークショップでの資料とならない。  
したがって,「ゴミ」「臭い」共に,新たな調査を行う必要性を確認した。
  3. 本グループの検討内容の確認  
具体的に何を行うかを明確にするため,議論した。本ワークグループでは,「ゴミ」「臭い」「感  
覚的評価」を主として扱うこと,水質改善策は別に(別組織?)検討することが確認された。
  4. ゴミと臭いに関する具体的な調査案を策定するため,二つのグループに分かれて検討を進めた。  
グループ別の司会進行:「臭い」原田,「ゴミ」武田  
実際の調査は,学生が主体となって行うことになるだろう。
- 4.2 臭いについて
- 議論に挙げたことを列記すれば,以下のとおりである。
- 堀川にとって臭いは大きな問題。現状を認識する意味で「堀川においマップ」を作りたい。  
臭いをどのように評価するか? 臭気度計って使えるか? 計器よりも人の鼻を信頼すべき。  
臭いの感じ方は,いろいろな条件によって変わってくる。  
臭いの種類,どんな臭いが,どのような原因で発生したか。風による作用はどうか?  
臭いは,水面からの距離,風向き,気温,季節,潮汐,流入水の水質などに依存する。  
臭いに対して,堀川付近の市民がどう感じるかが重要  
調査ポイント付近で住民や通行人にアンケート用紙を配り,回収するのはどうか?  
信頼性を高めるためには,場所,時間を決めて,調査することが重要である。学生が主体?  
「リバーピア庄内川」では,市民に参加してもらって臭いの評価を行なったことがある。  
堀川の臭いの調査を行うにあたって:  
名古屋の人は堀川を上流から下流まで詳しく知らない。  
どこが一番臭う? どの季節が臭う? 風向きや潮汐との関係は? 庄内川導水の影響は?  
河川環境としては,水そのものの臭いだけでなく,橋の上など地上での臭いが重要。  
人通りの多いところで調査する必要があるが,橋の上では風向きが影響するので要注意。

苦情もデータの一つ。(春は窓を開けるので苦情が多い。中保健所に臭いの苦情の記録あり)  
堀川各地点の表層水を一齐に採水して、市民に臭いを嗅いでもらってはどうか。  
栄でのCBC夏祭り(水まつり)等のイベントを活用し、市民の協力を得て臭い調査を行う。  
イベントなら多数のデータ数が集まる。市民に堀川の現状を知ってもらうことにも繋がる。  
夏祭りにブースを出展予定の行政や市民団体とタイアップして調査を実施してはどうか?  
船の船頭さんなど、堀川に関わる仕事についている人に聞き取り調査することも面白い。

#### 4. 1 ゴミについて

ゴミは、人工ゴミと自然ゴミに分けられる。

橋毎に観測を行う。船で行う場合には、波によってまざるため、かえってゴミが拾いにくい。  
橋毎にビデオ撮影を行うことも可能?ただし、ゴミの判別が難しい?

ペットボトルなどを川に流し、ゴミの流れを追う。昨年名古屋工業大学が実施したが、名古屋港までどのくらいかかるかは不明であった。

ゴミの空間分布をどうはかる?マップ化するためには、必要であり、このような情報が望まれる。

季節、大潮・小潮も考慮する必要がある。

橋から網をかけ、どれだけ、どのような種類のゴミが溜まるかを調査する。

岸のゴミは?

清掃活動(地域住民の市民運動)の情報を利用する。

ゴミの起源、調査するためには、場所を決める必要がある。

堀川のゴミに関する情報は不足している。特に、雨水吐からの流出に伴うゴミの状況。

このような議論により、以下のことが確認された。

- 1) グループとして、水面(水中)にあるゴミを対象とし、その分布を橋の上から調べる。
- 2) 調査には、橋の上から網ですくうなどの方法をとるが、詳細は次回の会議できめる。また、季節、潮位の状況などを考慮する。
- 3) 川のなかをゴミがどれくらいかけて動くのかを調べる。

さらに細かい調査内容の検討は、次回の会議で行うこととした。

宿題として、

各自、橋の上から行うゴミに関する調査の方法を考えてくる。

堀川清掃活動の情報が入手できるか、調べる。(武田)

#### 5. ゴミ、臭い以外の感覚的評価を検討するため、名古屋市と国土交通省の資料が配布された。

名古屋市が行っている感覚的評価

国土交通省が行った感覚的評価

#### 6. 市民参加型の浄化対策の提案(社会実験の提案)

念頭に置きながら、会議を進めていくよう確認された。

その他

1. 今後は、グループ内でメールを配信するよう、確認された。

2. 第3回の日程設定: 6月21日(水) 18:30~21:00, 中部大学鶴舞キャンパス 510 講義室。  
(出席者を把握していませんでした。次回は忘れずに調査したいと思います。武田)